

令和6年度足立区総合教育会議 要旨

要旨は、議事録から抜粋してまとめた内容であるため、発言の趣旨等の全体像については、議事録で発言前後の内容をご確認ください。

【議題】

あだちの児童・生徒の学力の現状・課題と更なる向上策について

【概要】

足立区では、子どもの学力向上を区政の最優先課題の一つと位置づけ、様々な手立てを講じてきました。区で実施する「足立区学力定着に関する総合調査」、国の「全国学力・学習状況調査」では、一定程度の成果が表れているものの、近年、特に小学校は横ばいの傾向が続いています。

このような踊り場的な状況の中、今回は、学校現場を巡回している学力定着指導員をゲストに迎え、学校現場における授業実施状況を踏まえて、今後の更なる学力向上を図るために必要なことについて、教育委員と意見交換を行いました。

○「学力向上対策の現状と課題－主に小学校－」

学力定着指導員・半田英雄氏より、資料に沿って説明

【意見等（要旨）】

1 区の学力向上施策の課題と成果について

- (1) 学力向上対策に終わりはない。学力向上は区政の最優先課題の一つであり、常に状況は変化しているため、恒久的に取り組むべき課題である。現場の課題や提案を踏まえ、新年度予算で必要な対策を講じていく。踊り場的な状況を打破するために必要なことを検討したい。忌憚のない意見を期待する。【近藤区長】
- (2) 足立区では、学力総合調査で平均点よりも通過率を重視し、学力の底上げを図ってきた結果、通過率が上昇した学校が増えている。一方で、小学校の数値が横ばい、または低下傾向のフェーズに入っている。学校間格差が拡大傾向にあり、特に下位校の増加の現状を危惧している。【半田学力定着指導員】
- (3) 全国学力・学習状況調査における「社会経済的背景」の調査結果から、足立区は都や国と比較して経済的に困難な状況にあるものの、平均点は国の平均とほぼ変わらない点を評価したい。これは、施策の効果と学校の先生たちの努力の成果である。事務局には詳細な分析を行い、学校長に成果を伝えてもらいたい。

学力向上対策は継続すべきであり、形骸化を防ぐために学校ごとに施策をカスタマイズする必要がある。それぞれの学校が強みを生かせるように工夫することを期待したい。【久保田教育委員】

2 子どもが自ら進んで学ぶ「足立スタンダード」の発展

- (1) 足立スタンダードの授業が子供にとって分かりやすく、友達同士で教え合うことが理解を深めることに繋がる。子どもたちは、足立スタンダードの授業のほうが「とってもよく分かる」と言う。教員の提案も受け入れながら、授業や補習のあり方を柔軟に変えていく必要がある。【早川教育委員】
- (2) 大仙市の小学校からの継続的な学習方法が、足立区の中学生にはすぐに適用できないかもしれないが、諦めずに学習方法を継続することが重要である。1年、2年で諦めて「これ駄目だよな」ではなく、ずっと続けていけば必ず身になるものだと思うので、足立スタンダードにうまく取り入れて続けていってほしい。【倉橋教育委員】
- (3) 足立スタンダードはかなり定着し、どの先生も認識しているが、各取組みの意義理解が十分でない先生もいるはずなので、それも含めて向上させていく必要がある。【久保田教育委員】

3 学校長の意識改革と教育委員会のリーダーシップについて

- (1) 学校長が教育施策を自身の言葉で語れなくなっている現状を憂慮している。その背景には足立区の学力施策に関する知識や経験の不足がある。学力向上のためには、学校長がその背景を理解することが不可欠である。【土肥教育委員】
- (2) 足立区の学力向上施策の初期の厳しさと、最近の優しさ（生ぬるさ）の両方が毒になっている。適切な厳しさ、評価、配慮が必要である。【土肥教育委員】
- (3) 学校訪問を通じて、学校長の熱意が学力向上に不可欠であることを実感している。教育委員会が学校長をサポートし、意欲を引き出すような声かけをすることが重要である。【倉橋教育委員】
- (4) 学力向上に尽力した退職校長を教育長の右腕として活用し、肩書きを与えることでその影響力を高めることを提案したい。経験者の知見を伝えることで、学校長の意識改革を促すべきである。【土肥教育委員】
- (5) 教育委員会として目標を明確に出していなかった点を課題として認識した。学校を支援するための教育委員会としての体制づくりが重要。学校への指導が適切に行えるような体制づくり、学校それぞれへの厳しい目、励ましになるようなデータをしっかり提供して、納得してもらうことが大事であるとする。【中村教育長】